

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	中国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0046		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	情報工学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	教科書：『理系学生の為の中国語』参考図書：『中国語入門＆異文化理解ハンドブック』（アルク）、指定はしないが中国語辞典が必要。						
担当教員	杉山 明						
到達目標							
学習目的：初級から中級程度の中国語の運用能力を身につける。							
到達目標 1. 中国語独特の音声、イントネーションを聞き取り、また発声できる。 2. 基礎的な単語600語程度を理解する。 3. 交通機関利用、ホテルの宿泊、簡単なトラブル解決等、簡単な日常会話ができる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	教員の問いかける中国語を聞き取り、適切に中国語で回答できる。		教員の問いかける中国語を半ば以上聞き取り、半ば以上回答できる。		教員の問いかける中国語をある程度聞き取り、ある程度回答できる。		教員の問いかける中国語をほとんど聞き取れない。
評価項目2	必要な単語の意味表記、発音を理解し運用できる		ある程度の単語の意味、表記、発音を理解し運用できる。		最低限の単語の意味、表記、発音を理解し運用できる。		基礎的な単語の意味、表記、発音を理解できずまた努力しない。
評価項目3	既習の文法、句法に則った正しい中国語を運用できる		既習の文法、句法と相違しても、意味の取れる中国語を運用できる。		既習の文法、句法と相違しても、意味の取れる中国語を運用使用とする。		既習の文法、句法に則った中国語を運用できず、また学ぼうとしない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：外国語 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：人文学／言語学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（５）国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育目標は「（Ｂ）地球的視野に立った人間性の育成、Ｂ－２：地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し、説明できること」であるが、付随的には「Ｂ－１」にも関与する。 授業の概要：中国語Ⅰで身につけた初歩的な中国語会話を基礎として、より高い水準の会話能力を身につけるべく、新たな単語、言い回し、構文を学び、さらにそれを自らの発話に応用できるよう練習する。						
授業の進め方・方法	授業の方法：テキストを利用し、発音練習、単語説明、文法解説等を進める。時間があれば自作教材による会話練習を行う。ビデオ教材も利用する。 成績評価方法：２回の定期考査の結果を７０％、毎時間実施する小テストを１０％、平素の口頭演習等を２０％として、総合計によって評価する。時間外の学習内容の評価は、平素の口頭演習等に含まれる。試験への持ち込みは一切不可。場合によっては再試験を実施することもある。再試験の評価は定期試験１回分と同等とする。						
注意点	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。１単位あたり授業時間として１５単位時間開講するが、これ以外に３０単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：中国語Ⅰを履修した者、中国語検定４級以上を取得した者、その他指導教員がそれと同等の力があると認めた者。語学であるから、予習復習等の物理的負担は大きい。小テストの準備は必ずしておくこと。 基礎科目：中国語Ⅰ（４年） 関連科目：日中比較文化論（専１年） 受講上のアドバイス：語学は予習、復習が大切。論理より訓練だと考えること。また、会話能力の伸長のためには積極的な発話が必要。間違いを恐れず意欲的に取り組んでほしい。授業開始より２０分を過ぎた場合は、欠課扱いとする。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス テキスト第１～２課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備			授業計画を理解する。	
		2週	第３～５課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備			３～５課の内容を理解する。単語を発音し、聞き取れる。	
		3週	第６～７課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備			６～７課の内容を理解する。単語を発音し、聞き取れる。	

		4週	第 8 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 8 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		5週	第 9 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 9 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		6週	第 1 0 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 1 0 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		7週	第 1 1 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 1 1 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		8週	中間試験	これまでの学習内容の理解度の確認。
	2ndQ	9週	中間試験の返却と解説，ビデオ教材視聴 新テキスト 第 1 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	これまでの学習内容理解の不足を補う。第 1 課の内容を理解する。
		10週	第 1 課、第 2 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 1 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		11週	第 2 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 2 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		12週	第 3 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 3 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		13週	第 4 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 4 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		14週	第 5 課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習，課文の暗唱，毎回の予習復習，毎時間行われる小テストの準備	第 5 課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
		15週	期末試験	これまでの学習内容の理解度の確認。
		16週	期末試験の返却と解説	これまでの学習内容理解の不足を補う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計	
総合評価割合	70	20	0	0	0	10	100	
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	